

科目名	作業療法評価学					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年	前期
【授業の目的・ねらい】 作業療法の実践の仕組みを理解し、今後の評価実習、臨床実習のイメージを作る。 また、作業療法の実践における評価の重要性を理解する。										
【実務者経験】 作業療法士として順心会幸生病院及び介護老人保健施設夢前白寿苑にて、身体障害領域及び老年期領域のリハビリテーションに従事。										
【授業全体の内容の概要】 作業療法実践における仕組みについて講義し、それぞれグループにて内容を検討する。 事例にて、具体的な評価の列挙、評価計画の立案を経験する。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 作業療法評価の基本的な考えについて説明できる。 作業療法を開始するに当たって、必要と考えられる評価を列挙できる。 作業療法評価計画を立案することができる。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	オリエンテーション 作業療法実践の仕組み総論								プリント	
2	各論1：情報収集段階（準備段階）								プリント	
3	各論1演習								プリント	
4	各論2：初期評価実施計画立案、評価実施								プリント	
5	各論2演習								プリント	
6	各論3：作業療法実施計画立案、作業療法ゴール設定、治療実施								プリント	
7	各論3演習								プリント	
8	各論4：再評価、フォローアップ								プリント	
9	各論4演習								プリント	
10	事例検討①								プリント	
11	事例検討②								プリント	
12	事例検討③								プリント	
13	事例検討④								プリント	
14	事例検討⑤								プリント	
15	事例検討⑥								プリント	
定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 医学書院 参考：作業療法実践の仕組み 共同医書出版										
【準備学習・時間外学習】 1年生で学んだ検査測定について復習しておく。 事例に関しては事前に読んで、分らない語句について調べておく。										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】										
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 課題の評価50点、定期試験50点の合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。										